

令和7年12月末民間在庫量のポイント

- 令和7年12月末の民間在庫量は前月よりも9万トン増加の338万玄米トン（対前年同月+85万玄米トン）と、令和3年（349万玄米トン）、令和2年（342万玄米トン）に次いで、近年では高い在庫水準（なお、令和2、3年の6月末の農家在庫等も含めた在庫全体は、ともに218万玄米トン）。
- 段階別にみると、出荷段階は260万玄米トン、販売段階は78万玄米トンであり、販売段階の在庫量は例年の同時期（50～60万トン程度）に比べ高い水準で推移。

※ 在庫率は上記対象事業者の在庫量を全体の需要で割ったもの。

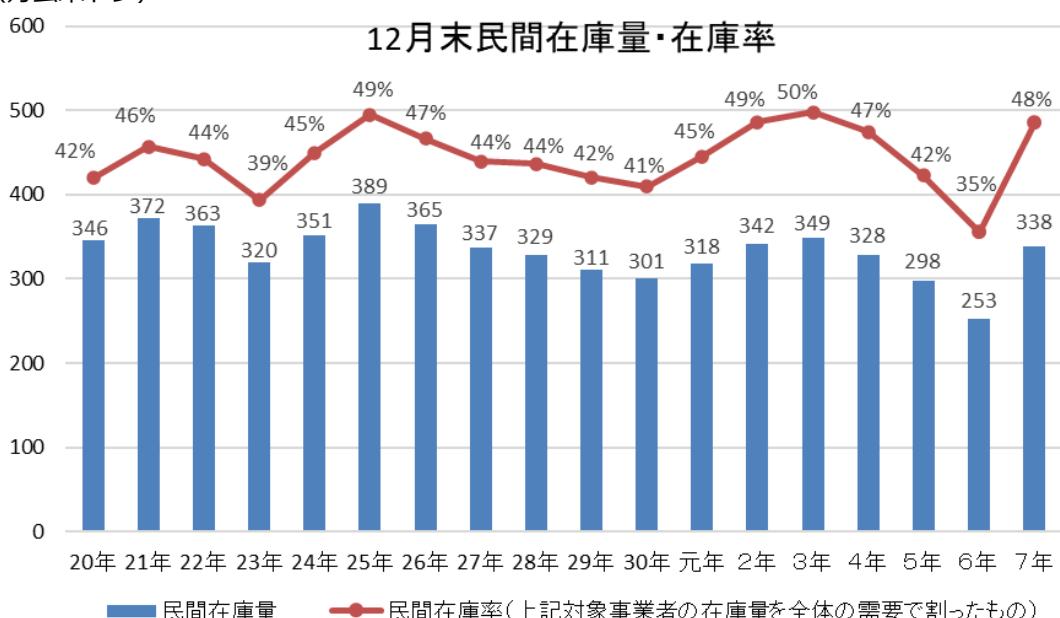
○ 出荷・販売段階別の民間在庫量（うるち米）

（万玄米トン）

	出荷段階	販売段階	合計
6年12月末	196	56	253
前年差	▲49	+4	▲45
7年12月末	260	78	338
前年差	+63	+22	+85

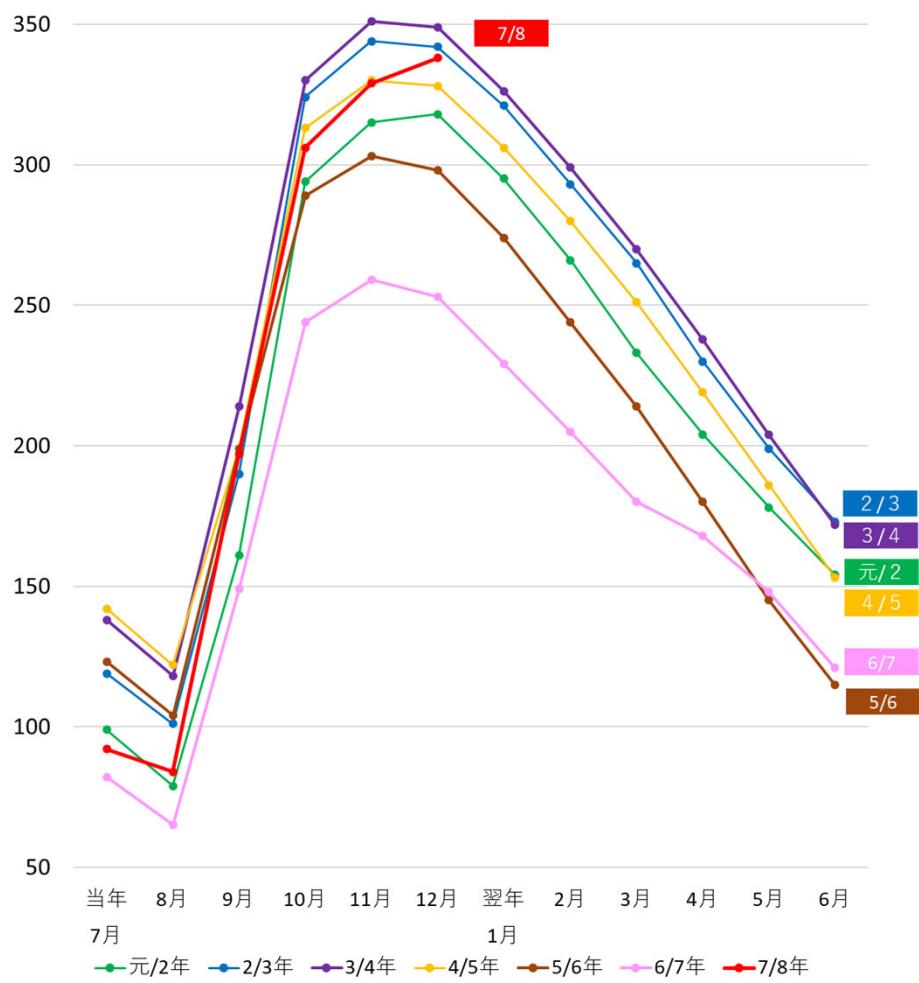
（万玄米トン）

12月末民間在庫量・在庫率



○ 民間在庫量の月別の推移（うるち米）

（万玄米トン）



※22年以前は、政府備蓄米の運営を回転備蓄方式で実施していたため、政府備蓄米がこの他に主食用米として販売されている。

※出荷段階は玄米仕入数量が500トン以上の集荷業者等、販売段階は玄米仕入数量が4,000トン以上の卸売業者等を対象。

※令和7年の在庫率は、7/8年の需要見通し（697～711万玄米トン）により算出。

※令和7年は、売り渡した政府備蓄米（入札及び随意契約による売渡し分）の数量（0.2万玄米トン：うち出荷段階0.0万玄米トン、販売段階0.2万玄米トン）を含む。

(参考) 毎月公表している民間在庫量の調査対象の範囲

(単位：万玄米トン)

	出荷段階	販売段階	生産段階
	年間取扱 500玄米トン以上	年間取扱 4,000玄米トン 以上	
うるち米		<p>【毎月調査ベース】</p> <p>6月末在庫 121万トン → 12月末在庫 338万トン (対前年+85万トン)</p> <p>【出荷段階】 6月末 84万トン ↓ 12月末 260万トン (対前年+63万トン)</p> <p>【販売段階】 6月末 37万トン ↓ 12月末 78万トン (対前年+22万トン)</p>	
もち米			

155万トン
(※6月末のみ調査)